平成27年度第1回 岩手県渋滞対策推進協議会 資料

平成27年9月4日 岩手県渋滞対策推進協議会

目次

- 1. これまでの経緯
- 2. 主要渋滞箇所のマネジメントサイクル
- 3. 主要渋滞箇所のモニタリング結果
- 4. ハード対策の取組事例
- 5. ソフト対策の取組事例
- 6. 今後の予定

1. これまでの経緯

H24 第1回協議会 (H24.6.26) 交通基礎データの共有 意見交換 等

H24 第2回協議会 (H24.8.7)

「主要渋滞箇所抽出の考え方」(案) 「パブリックコメントの実施方針」に対する意見交換(案)

H24 第3回協議会 (H24.11.9) 主要渋滞箇所(案)の決定パブリックコメント実施方針の決定

パブリックコメント・ヒアリングの実施

H24 第4回協議会 (H24.12.25) パブリックコメント等を踏まえた 地域の渋滞箇所の特定

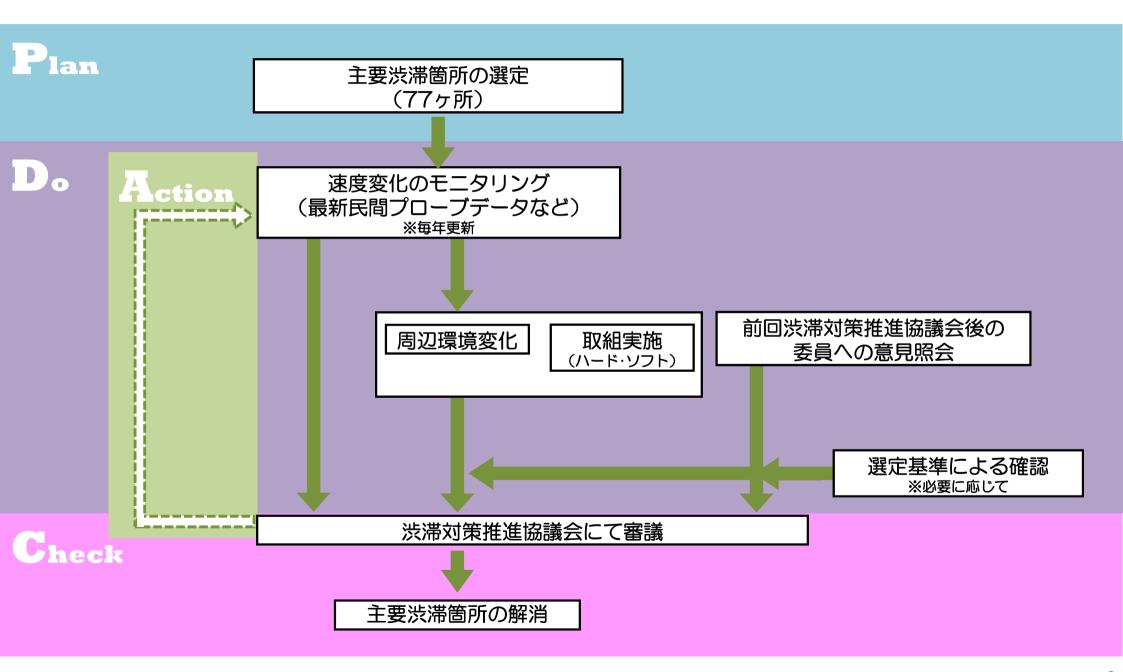
主要渋滞箇所の公表 (H25.1)

H25 第1回協議会 (H25.6.20)

今後の渋滞対策の流れの確認 岩手県の渋滞対策の基本方針の決定

2. 主要渋滞箇所のマネジメントサイクル

毎年、速度変化のモニタリングや効果検証を客観的データを用いて実施する。



3. 主要渋滞箇所のモニタリング結果

【速度変化のモニタリング】最新民間プローブデータ等を用いて速度変化をモニタリング。

■岩手県内における主要渋滞箇所は以下のとおり。

◎主要渋滞箇所:77箇所

L

●エリア: 1エリア ※10区間、22箇所を含む

●区 間:23区間 ※34箇所を含む

●箇 所:21箇所

■主要渋滞箇所の速度変化をモニタリング(H26年度)

※データ比較 H24(通常期H24.4~H24.6 冬期H23.12~H24.2) H26(通常期H26.4~H26.6 冬期H25.12~H26.2)

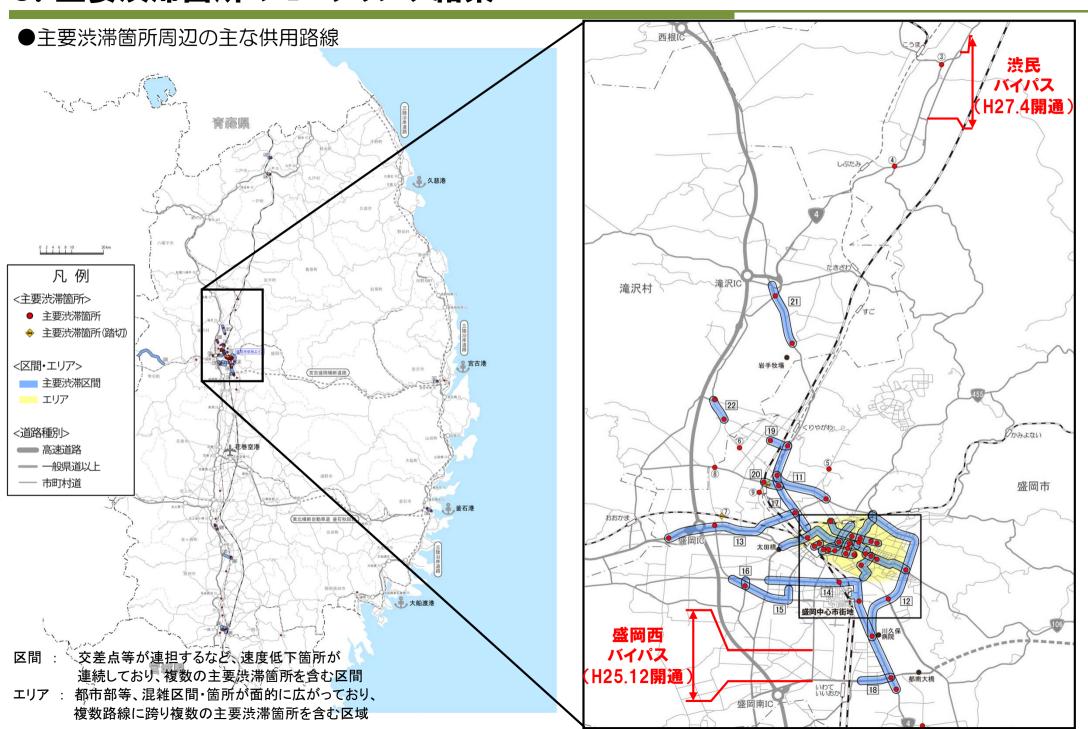
■岩手県内77箇所の主要渋滞箇所のうち渋滞方向が減少している箇所は34箇所 ⇒対策実施状況等を踏まえたモニタリング(効果検証)を継続

主要渋滞箇所の選定要件を満たしている箇所
岩手県内 76 箇所
主要渋滞箇所の選定要件を満たさない箇所
岩手県内 1 箇所

渋滞方向が減少している箇所

岩手県内 34 箇所

3. 主要渋滞箇所のモニタリング結果



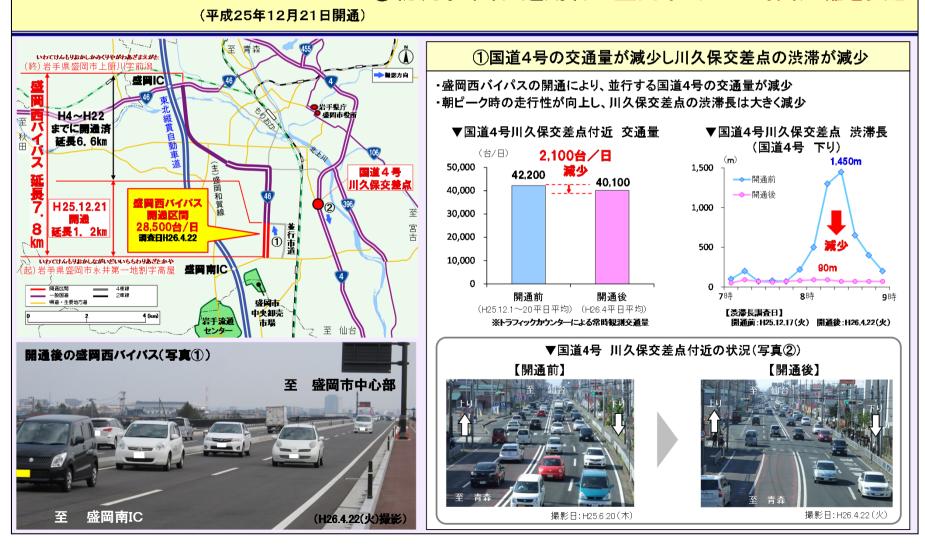
4. ハード対策の取組事例

- (1) 国道46号 盛岡西バイパス(公表資料)
 - ・平成25年12月に盛岡西バイパスが延伸、並行する国道4号の渋滞が緩和

【開通4ヶ月後】一般国道46号 もりおかにし 盛岡西バイパスが開通して

①並行する国道4号川久保交差点の渋滞が減少

②物流事業者・通勤者が盛岡市内への時間短縮を実感

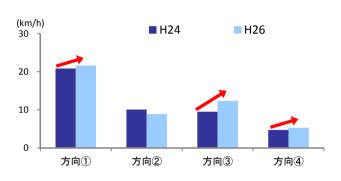


4. ハード対策の取組事例

- (1) 国道46号 盛岡西バイパス(主要渋滞箇所モニタリング結果)
- ・並行区間の主要渋滞箇所の南北方向の速度が向上
- ・川久保交差点については、主要渋滞箇所の選定要件を満たさなくなっているため、今後、ワーキンググループなどで詳細な確認を行い、主要渋滞箇所の見直しも含め検討

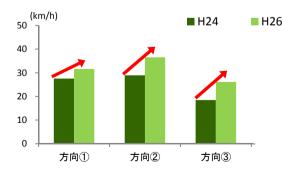


【仙北町交差点】



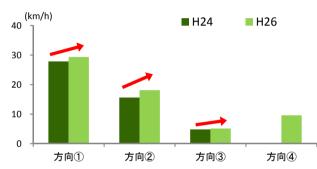
▲ 冬期の経年変化(昼12時間平均速度)

【川久保交差点】



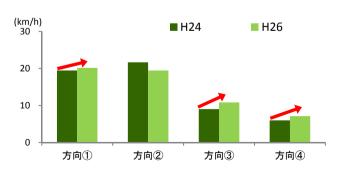
▲ 平日の経年変化(昼12時間平均速度)

【南大橋交差点】



▲ 平日の経年変化(昼12時間平均速度)

【盛岡南IC入口交差点】



▲ 平日の経年変化(昼12時間平均速度)

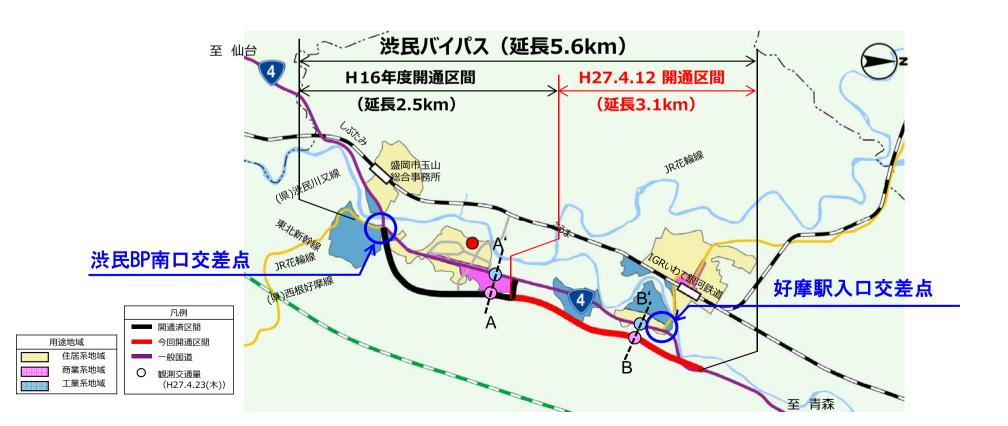
4. ハード対策の取組事例(速報)

(2) 国道4号 渋民バイパス

国道 4 号 好摩駅入口交差点(盛岡市)

主道路:国道4号、従道路:県道好摩停車場線

- ■渋滞要因
 - ①IGRいわて銀河鉄道好摩駅から国道4号に接続する県道との交差点
 - ②住居地域が連担する渋民地区内に交通が集中し速度低下が発生
- ■渋滞対策
 - ◎当該交差点を含む国道4号のバイパス整備(L=5.6km)を実施



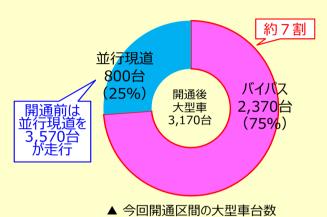
4. ハード対策の取組事例(速報)

渋民バイパスが開通して

(平成27年4月12日開通)

- ①今回開通区間では、約6割の交通がバイパスを利用
- ②H16年度開通区間の並行現道は交通量が半減
- ③大型車は約7割がバイパスを利用





※交通量調査 開通前(平日): H26.11.18(火)、開通後(平日): H27.4.23(木)

▼開通前の車両通行状況



H26.11.18(火)撮影

開通後

▼開通後の車両通行状況



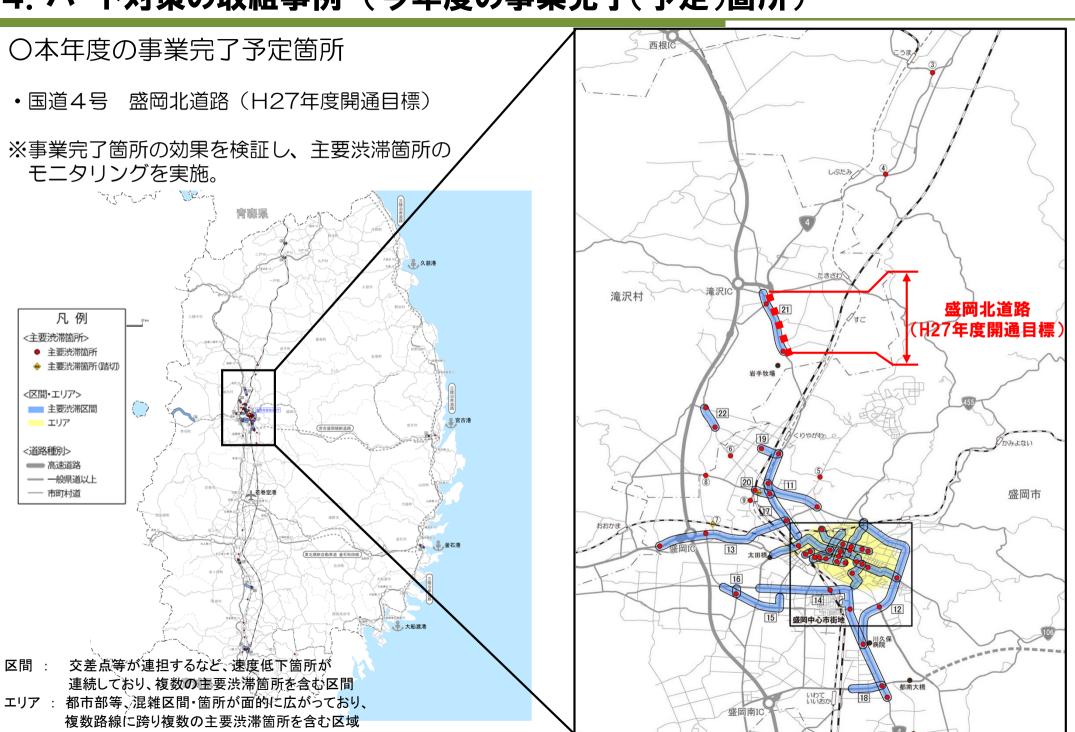
H27.7.7(火)撮影

▼全線開通した渋民バイパス



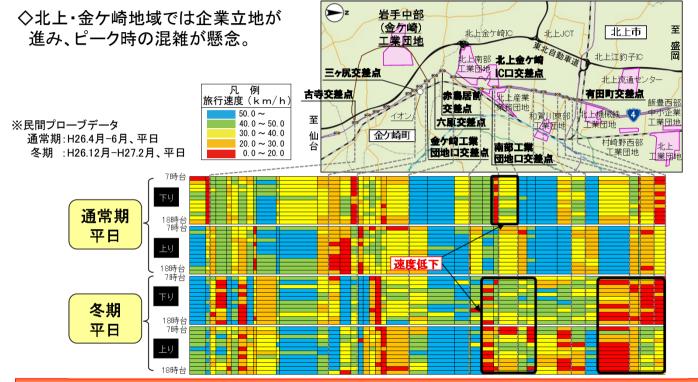
H27.4.23(木)撮影

4. ハード対策の取組事例 (今年度の事業完了(予定)箇所)



5. ソフト対策の取組事例

- (1) 時差出勤の推奨 金ヶ崎地区 ちょっと早めの通勤(チョイ早)
 - ・盛岡市内で実施したチョイ早を平成26年より金ヶ崎地区でも実施(現在効果検証中)



◇早め出勤の実施

- ・岩手中部(金ケ崎)工業団地、北上南部工業団地等 を対象(7時台出勤企業、就業者数の多い企業を候 補)に、10分程度の早め出勤を実施し、交通が集中す る時間帯の分散を図る
- ・配布チラシを作成し、協力依頼を実施

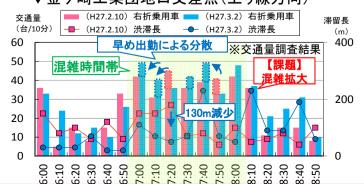
▼配布チラシイメージ





効果検証

◇交通量・渋滞長調査の結果、交通量が分散し渋滞長減少を確認 ◇アンケートの結果、通勤者の多くが時間短縮を実感 ▼金ケ崎工業団地口交差点(上り線方向)



▼金ケ崎工業団地口交差点の右折通勤者の実感

■時間短縮・スムーズになった ■時間がかかった ■変化なし
(人)
20
15
10
10
10
5
10
10
10
0

7時台

8時台

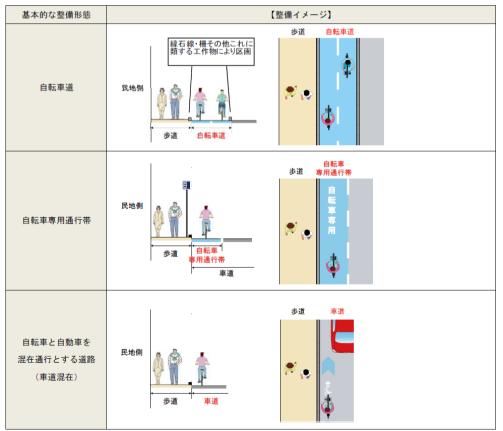
6時台

※H27.3企業アン ケート結果、N=27

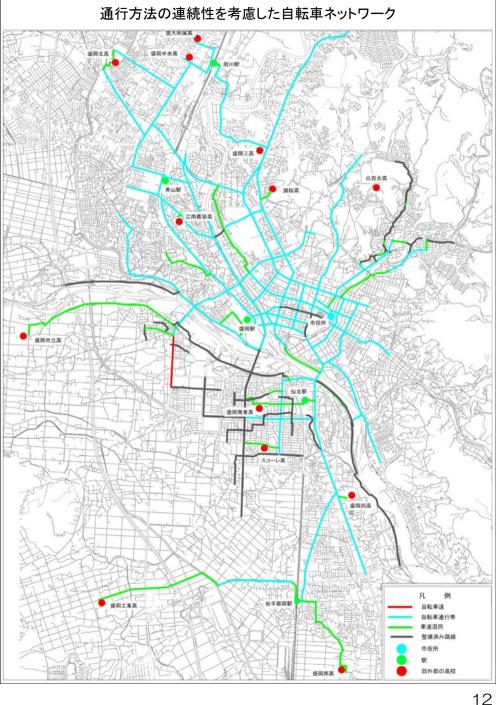
5. ソフト対策の取組事例

(2) 白転車の利用促進

- ・盛岡市では自転車の利用環境の改善を目指し、利用促進事業 として『安全で快適な自転車利用環境創出ガイドライン』に 則り、平成20年に「自転車の安全利用及び利用促進並びに 自転車の放置防止に関する条例」を施行。(以後、自転車専 用通行帯整備、自転車駐車場整備、通勤レンタサイクル及び PR活動等の施策を実施)。
- 各道路管理者が連携して、交通状況や通行方法の連続性を考 慮し、自転車ネットワーク計画の策定を目指している



▲ 基本的な整備形態



5. ソフト対策の取組事例

- (3) 公共交通の利用促進 JR川田線増便
- ・盛岡市ではJR山田線の利用促進に向け、増便や接続バスのダイヤ調整などの社会実験や、その広報を実施



去る平成26年11月30日(日曜日)11時から、山岸地区の方々を対象とした「JR山田線の乗車体験イベント」を開催いたしました。趣旨は、平成25年から始めた「JR山田線増便社会実験」の取り組みの一環で、山岸地区の方々に、もっと鉄道に親しんでもらい、使って頂きたいというものでした。当日は、抽選で選ばれた40名の皆さんが参加、山岸駅周辺に新しく整備した自転車駐輪場や案内看板を見学し、「山田線」で盛岡駅に向かいました。







JR山田線乗車体験イベントの後に・・・
「JR山田線」の使い方のアイディアについて意見交換しました



具体的な意見・感想

- ●電車は街中に来るのにすごく早い!
- ●山田線は、盛岡駅までの短い区間でも橋あり、トンネルあり、乗って楽しい!
- ●電車は、安い!エコ!
- 街の施設やイベントと連携してポイントを付与したらみんなが利用するのでは?
- ●「お月見ハシゴ酒祭り」など、街中のイベントに利用したい
- ●電車に自身の生活スタイルをあわせたらエコになると聞いた
- 山岸駅に、駅周辺のイベントや見所を案内したらみんなが利用するのでは?



▲ 山田線ニュース抜粋

盛岡市ホームページ より

6. 今後の予定

【今後の分析・検討事項】

- ① 渋滞状況の把握
 - ⇒ 最新速度データにより渋滞状況をモニタリング

- ② 対策完了箇所の効果検証
 - ⇒ 渋滞緩和箇所の主要渋滞箇所の解除について検討